



薫泉くんせん5月号

令和7年4月28日通算 431号
大田区立矢口小学校
校長 関 真理子

- ⓪ よく考え、進んで学習する子ども
- ① いつも元気でじょうぶな子ども
- ② こころ豊かでやさしい子ども

学校ホームページ:<https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-es/>
住所:〒146-0095 東京都大田区多摩川 1-18-22
電話:03(3759)9618 FAX:03(3759)9619



CHANCE CHANGE CHALLENGE～よさを自信に変えて～

校長 関 真理子

新年度が始まり、1か月が経ちます。学習と遊びの切り替えが上手にできる1年生。授業中、正しい姿勢で座り、担任をしっかり見て話を聞いたり、今、何をやる時間かを考え、行動したりすることができています。

私が、朝、校門で登校することもたちと挨拶を交わしていると、1年生が泣きながら、登校してきました。6年生の子が、「今日は、一年生を迎える会があるよ。楽しい会だよ。さあ、行こう。」と、1年生の子の目線に合わせてながら、優しく声をかけている姿がありました。



毎朝、校内を回り、子どもたちの学習の様子・生活の様子を見に行きます。

しっかりとした学習規律の中で算数の問題を懸命に解いている姿、落ち着いた態度で読書をしている姿、先生に連れられて静かに廊下の右側を歩いている姿等、子どもたちの取組のよさをたくさん見付け、その度に子どもたちをほめています。全校朝会では、しっかりと、挨拶をしながら、話を聞く態度も見事です。もちろん、ぴんと張りつめた緊張の中で、教員が毅然とした態度で、子どもたちを指導している場面にも出合います。

先日、校内を回っていた時のことです。先生の子どもへの大きな称賛の言葉が聞こえてきました。「とってもいい考えです。よく考えました。素晴らしいです。先生も思いつきませんでした。」と、子どもの取組を大きくほめていました。ほめられた子はとてもうれしそうで、学習意欲が一層高まったように見えました。

その時、ふと「ピグマリオン効果」という言葉を思い出しました。ピグマリオン効果とは、教育心理学における心理行動の一つです。1964年、アメリカ合衆国の教育心理学者ロバート・ローゼンタール氏が実験をしました。この実験は、無作為に選んだ子どもたちの集団を「将来、成績が伸びる子どもたち」と担任に伝え、担任が期待をこめて指導するというものです。1年後、その集団の子どもたちとその他の集団の子どもたちを比較すると、「将来成績が伸びる子どもたち」の集団の方が、成績が著しく伸びたということです。教師が期待をこめた態度で、子どもたちに接し、子どもたちがその期待に応えようとした結果であると主張されています。

子どもが自分を認めてほしい、ほめてほしいと思う相手は、まず、自分の親です。認められている子どもの心は安定します。日頃がんばっていることを大きくほめ、認めることがピグマリオン効果を生み出すのです。これが子どもの自信、やる気につながっていきます。

ほめることと、甘やかすこととは違います。学校では、全教育活動を通して、自分のしたことを振り返らせ、しっかりと考えさせて、よかったことは大きくほめ、悪かったことは悪かったと納得させていく指導をしています。学校・家庭・地域の大人たちが、子どもたちのがんばりや、よかったことを大きくほめることと同時に、「だめなことはだめ。」等、毅然とした態度で、正しく善悪の判断をすること、我慢すること、時には困難なことに立ち向かっていかなければならないこと等、しっかり教えていくことが重要であると考えています。厳しく叱る時にも、心はこめられています。ほめる言葉かけも、心がこもっていなければ伝わりません。子どもたちの健やかな成長を実現させるため、学校も家庭も地域も子どもの現実を見つめ、ほめるときには心をこめて大きくほめ、いけないことをした時には何がいけなかったのかを具体的に話し、指導をしていきます。

今こそ、伸びるチャンス。チャレンジをしつつ、自信に変えながら、子どもたちとともに矢口小学校が育っていきます。

5月の生活目標 『力を合わせて仕事をしよう』

生活指導部

新学期が始まってもうすぐ1か月が経ちます。子どもたちは、新しい学年、教室に、少しずつ慣れてきたように見受けられます。

矢口小学校には、集団生活を楽しく安全に、気持ちよく過ごせるよう、守ってほしいきまりがあります。生活のきまり、学習、健康や安全、給食、清掃、休み時間のきまりなど、集団生活ゆえにたくさんの内容があります。5月は、このきまりを確認する月です。すでに配布してあります、保存版「よい子の一日」、「矢口スタンダード」、「SNSルール」の内容を、お子さんと一緒に再度ご確認くださいませよう願いたします。

サポートルームの紹介

副校長 出口 芳子

在籍学級で学習上又は生活上の困難を抱える児童に対し、その困難さを改善・克服し、可能な限り多くの時間、在籍学級でほかの児童と共に有意義な学校生活を送ることができるようになることを目的とした特別支援教室(サポートルーム)の指導が始まりました。今年度は毎週、火・木・金曜日に、大田区立多摩川小学校から、巡回指導教員が本校に来校して指導にあたります。

特別支援教室では、得意なことや、少しの支援・配慮があればできることを見出し、自尊感情や自己肯定感を向上させて在籍学級での有意義な学校生活を送ることができるよう指導していきます。

【今年度の巡回指導教員】吉岡 千晶、高濱 裕子、折原 有美、鏡 康典、長谷川 和音

※入室には審査があります。また、定員もありますので希望される場合は早めにご相談ください。

【お知らせ】

◎早寝・早起き・朝ごはん月間について

5月は大田区をあげての『早寝・早起き・朝ごはん月間』です。ご家庭の協力が必要です。よろしくお願いたします。

◎熱中症対策について

すでに4月中から例年よりも気温の高い日がありました。熱中症対策として水筒の持参やタオル地のハンカチの用意など、ご協力をお願いいたします。

◎学校公開について

5月10日（土）に今年度最初の学校公開を行います。新学年となったお子さんの様子を是非ご参観ください。